

平成24年度

カリキュラム委員会（第5回）議事要旨

日時：平成24年12月21日（金） 15:00～15:55

場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者：委員長 箕島（実施調整部長）

委員 江川（機構長）、竹村（企画開発部長）、岡島（文）、舟場（文）、竹中（カレッジ）、高田（人）、河野（言（外））、田中（法）、山本（経）、杉山（理）、蔵田（理）、井上（理）、金岡（理）、松尾（医）、藤堂（医）、南方（工）、狩野（基）、木村（言）、三藤（言）、松本（言）、小林（生命（基））、大谷（国セ）、宮久保（博）、阿部（サ）、窪田（全教）、森（全教）、小松（全教）、坂東（全教）

オブザーバー 三上（医保）、小磯（理）

欠席者：青野（人）、北村（法）、佐々木（経）、内田（理）、廣野（理）、吉田（歯）、近藤（薬）、三宅（言）、松繁（国公）、西田（保セ）、清川（サ）

陪席者：徳野事務長、都々木教務係長、山中教務係主任、小坂教務係員

議題：

議事に先立ち委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

協議事項

1. 平成24年度授業担当非常勤講師の資格審査について（資料2）【回収資料】

委員長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、当該非常勤講師については、(i)サンフランシスコ教育研究センターから推薦された者で、機構長が特に認める者として予備審査を省略していること、(ii)アメリカ合衆国では、職業選択の自由に抵触するため雇用時の年齢確認は必要とされず、したがって、本資料でも非常勤講師1名の生年月日は非公開となっている旨説明があった。

2. 平成25年度授業担当非常勤講師（招へい教員を含む）の資格審査について（資料3）【回収資料】

委員長から、資料3に基づき、平成25年度共通教育科目を担当する非常勤講師については、平成24年3月に改定した「非常勤講師委嘱の指針」に基づいて行った各科目小委員会の予備審査で承認されており、また、指針の条項により予備審査を省略している者がいる旨の説明があり、審議の結果承認された。

なお、委員長から、現時点で資料に掲載されていない非常勤講師がある場合は、速やかに本機構の総務係へ書類を提出いただきたい旨発言があった。

3. 平成25年度外国語教育科目・国際教養2における非常勤講師任用について

(資料4)

委員長から、資料4および前回の議事要旨に基づき、継続審議となっていた本議題についての経緯説明があった。

引き続き、資料4に基づき、平成25年度授業担当計画の修正および平成26年度以降の計画について以下のとおり提案があった。

- ・平成25年度授業担当計画については、前回の非常勤講師担当9コマから、5コマを専任教員が担当することとし、諸事情により調整困難な残りの4コマ分について非常勤講師担当の代替措置を認めていただきたい。
- ・平成26年度以降については、非常勤講師担当の代替措置を全て取りやめ、専任教員が担当する。

種々意見を交換して審議した結果、言語教育部門・言語教育部会の計画のとおり、平成25年度は非常勤講師担当を4コマとし、平成26年度以降は非常勤講師担当分を零にすることで承認された。

なお、委員長から、平成25年度に非常勤講師担当コマの全てを常勤教員に戻す計画が達成できなかったことを踏まえて、本機構執行部としても平成26年度以降の計画の遵守を強く求めていく旨確認がなされた。

4. 平成25年度以降G30（人間科学コース）専門科目担当に伴う非常勤講師への変更について（資料5）

委員長から、資料5に基づき説明があり、引き続き、依頼内容についての説明があった。種々意見交換のうえ、審議の結果承認された。

なお、共通教育の専任教員担当が減ることは望ましいことではないが、G30は全学的に推進されているプロジェクトであり、非常勤講師経費の使い方も特に問題はない旨の発言があった。

● その他配付資料

カリキュラム委員会（第4回）議事要旨（資料1）

次回開催： 平成25年 3月15日（金） 15：00～（予定）